

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日の間に 当科において定位放射線治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「定位放射線治療(SBRT)において、 MU 目標調整ツールを使用による照射時間と計画パラメータの関
係性についての評価」 へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	副主任	鐵原 滋
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	後藤 優治
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	榎本 裕文
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	河合 佑太
	川崎医科大学 放射線腫瘍学		准教授	林 貴史
	川崎医科大学 放射線腫瘍学		講師	神谷 伸彦

1. 研究の概要

当院では、肺がんや肝臓がんなどの治療に「定位放射線治療」(SBRT)という方法を使っています。これは、がんだけを狙って放射線を当てることで、健康な部分へのダメージをできるだけ少なくする最新の治療法です。

この治療では、強い放射線を一度に当てる必要があるため、時間が長くなり、患者さんは何度も息を止める必要があります。長時間の息止めは体にも負担がかかります。

当院に 2025 年 1 月に病気を放射線で治療するために使われるパソコン(放射線治療計画装置)がアップグレードした際に「MU 目標調整ツール」が実装されました(今のところ臨床では使用を開始していません)。

「MU 目標調整ツール」は放射線を出す量(MU)を減らして、照射時間を短くする機能です。これにより、息止めの回数を減らし、患者さんの負担を軽くできます。

一方、MU を減らしすぎると、がんへの効果が弱くなったり、逆に健康な部分に放射線が多く当たってしまう可能性があります。そのため、この技術を使うことで、効果的で安全な治療ができるかを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日の間に川崎医科大学総合医療センター放射線科において定位放射線治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日

3) 研究方法

過去の症例 313 例で実際に治療した放射線治療計画装置の「MU 目標調整ツール」を使用していない放射線治療の計画を基準とします。本研究では同症例に対して、仮に「MU 目標調整ツール」の機能を用いて、放射線出力に関する設定 (Maximum MU) のみを変更した複数の治療計画を作成し、基準のものと比較検討します。評価項目は照射時間、照射野の平均開口面積、患者ごとの標的体積の線量、リスク臓器の線量を基準計画との差を評価します。また各計画での検証も評価します。

4) 使用する情報の種類

治療計画の情報 (標的体積の線量、リスク臓器の線量)

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合医療センター 放射線治療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 3 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：鐵原 滋

電話：086-225-2111 内線 80015 (平日：8 時 30 分～17 時 00 分)

ファックス：086-232-8343

E-mail：skanahara@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。